

おとなの学校新聞

Vol. 6



津山市日本原
352
0868-36-3390
編集担当：内田
発行責任者：森 崇 文

敬老会を実施

九月十四日に少し早い敬老の日の
お祝い会を行いました。

語りべのボランティアが来て下さり、奈義の民話「三歩太郎」を披露されました。皆様は熱心に耳を傾けられていました。

又、職員による抹茶の御手前を栄養課の手作りで紅白まんじゅうと共に楽しく美味しく頂きました。

(介護福祉士 兼本順子)



昔話かたりべ 高森行代様

リハビリから

「高齢者の転倒は居室が多い？」

高齢者の転倒は、階段や浴室ではなく意外にも居室という同一平面上で多く起っています。カーペット、座布団、こたつ布団、電気コードにつまづいた。敷居につまづいた。床にあつた新聞、チラシで滑ったなどが転倒のきっかけです。

転倒に伴う骨折では、足の付け根(大腿骨頸部骨折)が多く、寝たきりを引き起こす一因です。外傷を伴わなくても転倒による自信の喪失、恐怖心から活動範囲が狭まり体力・筋力の衰えがさらに転倒リスクを高め悪循環となります。

転倒しにくい環境づくり・筋力づくり(足の筋力の強化)をして転倒の予防をしていきましょう。

(作業療法士・藤内愛香)



食事と運動で

認知症を予防しよう

○脳や血管に良い物を食べましょう。野菜や果物を沢山とっている人は、認知症になりにくいことが解つていきます。

魚を沢山食べているの方が認知症になりにくいと言われてます。特に「青背の魚」と呼ばれているサバ・イワシ・アジなどに多く含まれる不飽和脂肪酸には、脳の神経伝達をよくし、脳の血流をよくする働きがあるからです。

○有酸素運動をしましょう。
ウォーキング・水泳・体操・サイクリングなどの有酸素運動を行うと、脳の血流が増すため認知症予防に効果があります。できれば週5日1日30分以上(10分以上の運動を3回にわけてやっても良い)の有酸素運動を行いましょう。

◎普段より10〜20%くらい歩幅を広げて早歩きを。

◎1日の歩数は7000〜8000歩を目標に。

◎週5日、1日30分以上をめざして。

(看護師 前原岩江)

くもん学習療法とは

「この年になって勉強なんて」と言われる方もいらっしゃるかもしれませんが、学力をつける事が目的ではありません。脳の活性化・前頭前野機能の維持・改善を目指しています。

(学習療法士 石原彰代)



実りの秋!! 収穫の喜び!!

